

第37回秋田県教育研究発表会

～郷土あきたの教育への提案～

期日：令和5年2月2日(木) 場所：秋田県総合教育センター

日程

9:00	9:30	9:45	10:40	11:00	12:10	13:00	14:10	14:30	16:15
受付	開 会 式	センター 研究発表	移 動	口頭発表①②	昼 食 休 憩	口頭発表③④	移 動	講 演	

※当センター内の食堂は営業しておりません。昼食は各自で御準備ください。

センター研究発表

共通テーマ「令和の新時代における秋田の教育」の下、「研修」・「研究」・「支援」の各機能を生かした三つの研究です

センター研究1

情報モラル教育の充実に向けた指導プランの提案

情報社会を生き抜くための資質・能力を身に付けるため、短時間で継続的に取り組むことができる情報モラル教育に関する指導プランについての研究です。1年次の今年度は、アンケート調査による実態把握とその分析、作成した情報モラル学習活動例について発表します。

センター研究2

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による授業改善

各教科等における資質・能力の確実な育成に向けた、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点による授業改善についての研究です。1年次の今年度は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から学習指導案を検討した研修講座での様子を中心に発表します。

センター研究3

特別な支援を必要とする児童生徒のためのICTを活用した指導・支援の工夫

特別な支援が必要な児童生徒のため、教職員がICTを活用して指導・支援を行う方法についての研究です。1年次の今年度は、研修講座で実施したアンケート調査や、講座内での協議・演習を基にまとめた、指導・支援におけるICTの活用事例について発表します。

※いずれのセンター研究も、2年計画の1年次の発表です。

講演

これからの教育に関する新たな知見が得られる機会です

講演題：子どもを主語にする学校をめざして

～学習指導要領と令和答申から～

講師：独立行政法人教職員支援機構理事長
中央教育審議会初等中等教育分科会長

荒瀬克己氏



<プロフィール>

京都市立堀川高等学校長、京都市教育委員会教育企画監、大谷大学文学部教授、関西国際大学学長補佐、兵庫教育大学理事等を経て現職。中央教育審議会副会長、初等中等教育分科会長、「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会、大学改革支援・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会等の委員を務める。「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月26日）において、一人一人の子供を主語にする学校の実現についての方策の取りまとめに尽力した。著書に『奇跡と呼ばれた学校』（朝日新書）、『「アクティブ・ラーニング」を考える』（共著、東洋館出版社）等。「月刊高校教育」（学事出版）にコラムを連載。